



明治大学校友会豊島区地域支部の皆様及び日頃から当地域支部を激励・応援して頂いております皆様大変ご無沙汰しております。5月の連休も終わり、初夏の爽やかで気持ちよく過ごせる季節が到来してくると思っておりますが、昨年と同様、4月25日、東京に発出されました新型コロナウイルスによる第3回目の「緊急事態宣言」は5月11日までの17日間で終了する予定でしたが5月7日に政府により6月20日まで延長されるとともに、その後、まん延防止等重点措置の適用、さらに7月12日に4度目の緊急事態宣言が発出され、日常生活を取り戻せない状況が続いています。また、東京オリンピック・パラリンピック二〇二〇も無観客での開催となってしまいました。

昨年一年間政府・東京都の要請により国民・都民は日々の暮らしの制約を耐え、

忍んで今日まで来ましたが、更なる要請により、さらなる忍耐が要求される事態となつております。新型コロナウイルスへのこれまでの対応・経緯を考えますと日本の緊急事態に対する対処能力の低さが目に余る状態になっていると思わざるを得ません。国民の生命・財産を本当に考え施策・行動を実施してきたのか疑問に思います。国と地方、医療業界、経済界、労働界等様々な業界で意見集約が出来ず今回の緊急事態に向けては「対処療法」での対応しかできず全て国民にそのしわ寄せがきていると考えます。

1日も早くワクチンを必要な量を確保し、接種して国民を安心させるよう願うしかありません。

この1年間豊島区地域支部としましては新型コロナウイルスの影響で活動らしい活動はできておりませんでした。これからも新型コロナウイルスの影響で活動が制限されるかもしれないが可能な限り皆様とお会いできる場を提供したいと思っております。

喜ばしいご報告を一つ致します。

政府は4月29日付で各界に功績が有りました人をたたえる二〇二一年春の叙勲に当豊島区地域支部より中小企業振興功勞で細田悌治先輩(細田木材工業(株)社長・1964年商学部卒)が旭日章を受賞されました。又、校友会本



**豊島区地域支部「暑氣払い」中止のお知らせ**

8月7日に開催予定で検討していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の一環として、6月の地域支部役員会で、中止を決定いたしました。

校友の皆様には、ご理解いただきませうようお願い申し上げます。

部に於きましては教育研究功勞で前会長の向殿政男先輩(明治大学名誉教授・1965年工学部卒)が瑞宝中綬章を受章されています。本当におめでとうございます。

最後に新型コロナウイルスに負けませぬよう皆様のご健康を祈念しております。

明治大学校友会豊島区地域支部  
支部長 白砂正人

### ■報告事項

#### ●令和3年春の叙勲受賞

令和3年春の叙勲で、細田悌治さん(1964年商学部卒)が旭日章(中小企業振興功勞)を受章しました。おめでとうございます。

#### ●東京都北部支部会報13号発行

東京都北部支部では、年1回会報を発行しています。豊島区地域支部の皆様には、三大自然などでお会いする機会にお渡ししたいと思います。



#### ●豊島区地域支部

##### 地域活動団体として、コロナ禍でも可能な社会貢献活動を実施

2020年度はコロナ禍で、豊島区地域支部の活動・事業の大半が制約を受け、校友の皆様との交流機会を設けられず、残念な1年間となってしまいました。

三大行事(総会・懇親会、初春交流会、暑氣払い)が実施できない中でも、年3回の会報を発行し、地域支部総会資料として活動報告・決算・監査報告、次年度事業計画・予算(案)についても会報の中で報告させていただきました。

2020年度の事業活動としては、使用済み切手・書き損じハガキ、ベルマークの豊島区民社会福祉協議会への寄付(毎月)、としまNPO協議会が開催する「えんがわ市」フリーマーケットへの出店、第15回社会貢献活動WEB見本市への協賛など、例年と同様の社会貢献活動に取り組むとともに、コロナ禍での学生支援として明治大学学生・教育活動緊急支援資金へ寄付しました。また、NPO法人つげの会(建築学科学術研究室OBが主体となって設立)主催の「石博昌和先生(明治大学建築学卒、東京理科大学助教)を顕彰する会」東京の都市と、そこから生まれたまちと路地〜」に後援・参加しました。

地域支部運営にあたっては、毎月開催している地域支部役員会は、メールでの議案書を発行・意見徴収を行いました。さらに、60歳以上の校友を中心とする交流の場であるミレイ会も開催困難な中、近況報告を掲載したミレイ会通信を12回発行しました。東京都北部支部の総会・懇親会の案内に同封のハガキをご返信いただいた校友の皆様へ、豊島区地域支部の会報や行事開催案内を送付させていただきましたので、是非とも返信ハガキをご投函下さいますようお願い申し上げます。

(猪瀬 典夫 記)

#### ●第15回社会貢献活動WEB見本市に協賛

第15回社会貢献活動WEB見本市(としまNPO推進協議会)に、明治大学校友会豊島区地域支部賞として協賛(1万円)しました。受賞した「としまちプロジェクト連絡協議会」は、池袋西口地区において、町会、商店会、NPO、企業、大学、自治体等のマルチステークホルダーがネットワークを構築



面評決を基本とし、6月26日(土)当日は、午後5時から「総会議案書説明会(会場:ホテルラングウッド日暮里)として開催し、WEB配信を行うとともに、会場には、東京都北部支部役員と、荒川区在住校友が参加しました。校友の皆さまとの懇親・交流の機会を早期に開催できるよう祈念してまいります。豊島区地域支部の活動・事業ともども、ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

している団体で、緑化の推進や、子どもたちに対する環境教育などの活動を実施している団体です。なお、今回の社会貢献活動WEB見本市は、コロナ禍での開催であるため、2月27日(土)にパネル展示のプレゼン動画を撮影し、その後の審査委員による採点とともに、YouTube「えんチャンネル」への公開による視聴ポイントなどを加味して採点しました。審査結果は、上位受賞団体を対象とする表彰&上映会を3月28日(日)に豊島区役所1階センタースクエアで行われました。



#### ●使用済み切手・書き損じハガキ・ベルマーク収集への協力お願い

身近な社会貢献活動として、使用済み切手・書き損じハガキを豊島区民社会福祉協議会へ寄付、ベルマークを豊島区教育委員会へ寄付を行っています。毎月開催している役員会で収集とりまとめしています。

校友の皆さんも収集活動にご協力の

#### ●豊島区地域支部年会費納入のお願い

校友の皆さまには、明治大学校友会豊島区地域支部の事業へのご協力御礼申し上げます。

豊島区地域支部の会報の制作・郵送などの事務費については、会員の皆さまからの年会費により運営しています。本会報にさせていただいた2020年(2021年の年会費の振込用紙(振込手数料はかかりません)で、振込手続きいただければ幸いです。何卒、ご協力お願い申し上げます。

#### ●ミレイ会通信の発行

ミレイ会(の開催が令和2年3月から延期になっていますが、ミレイ会メンバーのコミュニケーション・ツールとして、ミレイ会開催までの取り組みとして、近況報告などを掲載した『ミレイ会通信』を4月28日から不定期ですが、13回発行しました。ミレイ会の皆さまからの近況報告やメッセージをお待ちしています。※メールなどで、幹事長の猪瀬宛にご連絡下さい。

#### ■訃報

木崎茂雄さん(3月7日逝去、1966年政経卒、巣鴨地藏通り商店街 振興組合理事長、豊島区民社会福祉協議会副会長、豊島区青少年育成委員会連合会会長などを歴任)

謹んでお悔やみ申し上げます。

# 明治魂を伝える

長澤 義彦

1997年度商学部卒  
豊島区文化商工部学習・スポーツ課長  
東京オリンピック・パラリンピック担当  
課長



この度は、明治大学校友会豊島区地域支部会報に掲載の機会をいただきまして、ありがとうございます。

私は、長野県北安曇郡松川村という小さな村の出身で、大学は東京などと漠然と考えていました。書店で赤本を探していたとき、たまたま「商学部」の文字を見て、何か格好良さそうだなと受験したことを覚えております。これまで、山に囲まれて育ってきたため、東京で暮らし始めたときは、

「東京って、どこまでも山が見えないんだあ」と感動しました。

大学の授業は意外と面白く、个性的な先生もたくさんいらっしゃいました。民法の授業で「これから神宮球場に行きなさい」と言われ、六大学野球の優勝がかかった試合を応援し、出席票の代わりに観戦チケットを提出したことを覚えております。

また、ゼミの仲間とは多くの時間を過ごした。当時、商学部ではゼミに入らなかった学生は「ゼミ無子」と呼ばれ、恐れられていました。私は「企業倫理」ゼミを志望し、大学受験以来の「ゼミ試」に臨み、経営学の筆記試験と着なれないスーツでの面接試験に臨みました。

ゼミでは、全員で一つの論文を夏合宿まで書き上げ、秋のディベート大会に臨みます。二泊三日の山中湖セミナーハウスでの合宿で、教授や先輩から指導を受けながら論文を完成させました。論文に貢献した記憶はほとんどありませんが、合宿に浅草橋の間屋で1万円分の花火を買い、ひたすら花火を楽しみ、朝まで飲んで、そのままの浴衣姿でテニスをしたりと無駄な体力を消耗し、肝心の日は疲れ果てて寝ていたんだと思われます。

仙台で開催されたディベート大会には、青春18切符で東京駅から7、8時間かけて向かいました。10人ぐらの仲間とひたすら飲んでいましたが、途中で乗車した高校生の冷たい視線を覚えています。

また、よく遊んだのは新宿のコマ劇前です。仲間と食べ放題のお店に行き、ミラノボールでボーリングやゲームを楽しみ、友人の部屋や夜のキャンパスに忍び込み徹夜で遊びました。今思えば、本当に無駄な時間ですが、きっと何かの役にあっているはずと信じています。

就職では、特別区職員を希望し、豊島区に採用が決まりました。確か当時、中野、墨田、豊島は23区で財政状況が厳しく、「貧乏御三家」と言われていました。豊島区は庁舎や公会堂も古く、今の新庁舎やHareza池袋などとても想像が付きません。

そして、現在、学習・スポーツ課で東京オリンピック・パラリンピック競技大会も兼務しています。新型コロナウイルスの感染が広がる中、7月18日にオリンピックの



聖火リレーは中止になりましたが、8月20日にはパラリンピックの聖火リレーが豊島区で実施される予定です。

※左「第74回豊島区都民体育大会豊島区代表選手団式」での豊島区体育協会の服部会長、小林副会長・専務理事などの皆さんと。

## ● 団体紹介

(社会福祉法人) 豊島区民社会福祉協議会

常務理事・事務局長 天貝勝己  
1982年法学部法律学科卒

コロナ禍のなか、皆様いかがお過ごしでしょうか。校友会恒例の暑気払をはじめ、総会、懇親会なども開かれず、諸先輩方にお会いできなくなつて寂しい限りです。コロナウイルスの襲来は、私たちの健康への考え方を一変させるとともに、生活様式や働き方の多様性が求められ、新たなQOL(クオリティオブライフ)の概念が生まれつつあるように感じます。

私が勤務している社会福祉協議会では、コロナによって生活が困窮した方々に対し、国制度の「緊急小口資金」「総合貸付資金」を昨年3月から開始し、既に申請件数が2万件に迫っています。中でも、申請件数に占める外国人の割合は非常に高く、約4割を数えます。これまでの社協のお年寄り中心の支援から「支援の多様性」を考えさせられる事象がこのコロナ禍で顕在化し、アフターコロナでの取り組みが極めて重要となります。

豊島区民社会福祉協議会は、再来年



筆者本人(右)と豊島区高齢者福祉課長の猪飼敏夫氏(83年政経学部卒)

で創立70周年を迎えます。豊島区の福祉行政の一翼を担い、「CSW(コミュニティソーシャルワーカー)事業」では地域区民ひろば8か所で困りごと相談にあたっています。また、判断能力の低下した方々への「成年後見制度」の利用促進や「終活」への備えの相談窓口の運営、ボランティアで在宅福祉サービスを提供する「リボンサード・ビス事業」など、様々な地域支援活動を豊島区から受託や補助で展開して

います。

先輩方の何人かは、社会福祉協議会の事業に賛同して、会員となつていただいていますので、この機会に是非(笑)！(ちなみに年会費千円です。)

話は前後しますが、私が明治に入学したのが昭和53年(1978年)で、神宮で鹿取(巨人)高橋(中日)の両エースが大学選手権で原辰徳率いる東海大を下して優勝し、ラグビーも現在早稲田FBの河瀬選手の父親が明治のFWで活躍した時期で、神宮、秩父宮、旧国立競技場周辺で仲間と飲み歩いてきた記憶が蘇ります。大学では行政法のゼミに入室し昭和57年3月武道館で故三木武夫元首相の祝辞を聞き無事卒業できました。

同年4月から豊島区役所で社会人のスタートを切り、平成31年3月に定年迎え、現在に至っています。管理職として最初の仕事でありました区立小・中学校統廃合事業の3年を経て、区役所新庁舎整備プロジェクトの課長を、南池袋市街地再開発事業の着工までの7年を経験した10年間で、私

にとつて最も厳しく、「前へ」の「明治魂」を發揮しなければ、切り抜けられなかったと想っています。

学生時代の仲間たちも、それぞれに新たな人生を歩み始めた矢先、昨年最も親しかった友が「大動脈瘤破裂」であつてなく世を去つてしまいました。葬儀の弔辞を書き上げるなか、学生時代から人生の節目節目で旧交を温められた時の流れに感謝し、涙するしかありませんでした。

まだまだコロナ禍のなか、油断はできません。皆様、健康に十分留意していただき、再びお会いできる日を楽しみに、明治魂でコロナに打ち勝ちましょう！

